

#### 4. 閉会挨拶

「えひめ防災フォーラム 2011」－東日本大震災からみた東南海・南海地震への対応－の閉会に際しまして、主催者を代表して一言ご挨拶申し上げます。

まず、特別講演をしていただきました国土交通省四国地方整備局の川崎正彦局長、パネリストとしてご登壇いただきました、各市長、町長、四国地方整備局や愛媛県の部局長に心より感謝申し上げます。今一度拍手を持って感謝の意を表したいと思います。

また、愛媛県下を代表する各界から 460 名のご出席をいただきお礼申し上げます。

「天災は忘れたころにやってくる」とはけだし名言ですが「備えあれば憂いなし」というのも事実だと思います。愛媛県でも近い将来に発生が懸念される東南海・南海地震に対する備えをしておかなければなりません。本日の各自治体のご説明で、すでに減災のためのご努力が相当なされていることがわかりましたが、今後この意識を持ち続けることも重要です。また今回の震災でも想定外ということがいろいろありました。情報、教訓を分析してより備えをよりレベルアップする必要があるのではないかと思います。さらに、地域住民、行政、企業、大学とのさらなる連携も重要だと感じました。

愛媛大学では、愛媛県下の 20 市町に呼びかけて、すでに今年 1 月に愛媛地域防災力研究連携協議会を設立しました。協議会では、避難問題研究会、自主防災研究会、自治体業務継続計画研究会、防災教育研究会、防災 GIS 研究会の 5 つの研究会を立ち上げて、地域防災力を向上させるべく、きわめて実務的な研究を進めております。愛媛大学は少しでも地域に貢献したいと思っておりますので、ご協力・ご支援をお願いいたします。

最後に、本日のフォーラムが愛媛地域の防災活動の推進に大いに寄与することを願うとともに、本日ご参加の皆様がたの積極的な自主活動をお願いいたしまして、簡単ではありますが、閉会の挨拶とさせていただきます。

本日はまことにありがとうございました。

愛媛大学社会連携推進機構長 林 和男